

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 恵庭校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 25日		~ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 25日		~ 2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を行うことで、1人、1人の細かい部分まで丁寧な支援ができる。	利用者に今必要なことを個別計画に入れることで、職員が共通理解の元支援ができるようにしている。	担当を決めていないので、次の支援の為に引継ぎを行い、引継ぎされたことができるまで支援を継続。色々な職員が支援していくことで、利用者の幅も広がるような取り組みをしている。
2	療育と言われるところの土台の部分を作ることで、利用者の幅も広がっていく。	将来社会に出てからの困り感が少しでも少なくなるように自分で考え動ける力がつくような支援内容を考えている。取り組みでは、「こんな時どうする?」「こんな時どんな気持ちになる?」等、ソーシャルスキルトレーニングを行っている。その他には「想像する」ことで目に見えないことも考えられるような支援を行っている。	職員同士が共通理解で支援を行っているかの確認を更に行うことで、利用者一人一人の支援に深みを増し成果を出せるようにしている。
3	放課後等デイサービスの小集団を開始した。	コミュニケーション力、気持ちの切り替え、子ども同士で物事を考え作り上げていける力を養っていくことを目的に行っている。	R6.11月から開始しているので、開催曜日や時間帯、内容等検討し進めて行く。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者以外との子どもたちの交流。 (放課後児童クラブ、児童館)	交流の目的についてしっかりと考える必要がある。	保護者や利用者の意見を聞き確認しながら、進める必要があると感じている。
2	送迎を行っているため、フィードバックが保護者に伝わっているか。	送迎希望のご家庭には、担当した職員以外の職員が送迎をする場合があるので、フィードバックの内容が細かい所まで伝わっているのかが課題となっている。	伝え方などメモに書いてもらったものを保護者様に伝えていくが、メモも様式を決め端的に伝えられるように工夫をしている。
3	保護者とのラインやメールのやりとりについて。	管理の仕方等、理解できていない部分があるので、他校舎でラインを利用している校舎に利点等聞きながら、校舎内で話合っ、より良い方向に進めて行く。	実際にライン等利用している他校舎の意見も聞き、職員の意見も聞きながら良い方向に進めて行けるのであれば、取り入れていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」 恵庭校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 28名 2024年11月1日

回収数 24名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22			1	回答無し1名 ・個室があるのが良いと思った。	・個室の他に運動遊び等出来るスペースもあるので、個室と広いスペースで幅広い支援ができるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24				回答無し1名 ・勉強や送迎の先生が交代にされてて良い。	・支援では色々な先生と関われるように担当を決めていませんので、幅広い支援が提供できていると思います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3		1	回答無し1名 ・運動するスペースがあったり、本棚があつて良い。	・個室での支援、運動をするスペース、広いスペースと用途に合わせて分かりやすくなっていると思いますが、施設内はバリアフリーにはなっていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24				回答無し1名 ・入室したら手洗いが徹底されており良いと思います。 ・きれいだと思います。広いスペースもあって良い。	・掃除は毎日行っています。 ・活動に合わせて、部屋を使い分けています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				回答無し1名	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24				回答無し1名	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				回答無し1名	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		2	回答無し1名	・子育てサポートや家族支援を行い、相談や保護者との情報共有をより深め、支援の範囲も広げられることで色々な支援の提供が可能となっています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24				回答無し1名	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		1	回答無し1名	・職員間で引継ぎや意見交換を行い、支援内容がマンネリ化しないように工夫しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	3	2	8	回答無し1名 ・交流はなくて良いと思います。	・交流は行っていませんが、今後は保護者や利用者の意見も聞きながら検討する場を設けていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				回答無し1名	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				回答無し1名	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2		3	回答無し1名	・昨年度より茶話会を行っています。その中で職員、保護者間や保護者同士で情報交換をされています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24				回答無し1名	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3			回答無し1名	・子育てサポートや家族支援で保護者お話しをする機会を作っています。その中で相談も受けています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				回答無し1名	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	15	6	2		回答無し1名 ・茶話会があり、1度だけ参加出来て楽しかったです。	・茶話会を開催し、交流の機会をもうけています。きょうだい同士の交流は現在行ってはいませんが、今後は視野に入れていきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	2	回答無し1名	・相談の対応の体制は職員間で共有しながら動いています。その場で返答ができない場合は後日電話等で対応しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	1	回答無し1名 ・本人に聞かせたくないけどスタッフには伝えておきたいことなどをメールで伝える手段があるとありがたいです。 ・ライン等電話以外にも連絡方法があるとありがたいです。	・ライン等の連絡方法は今後検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	4	1	回答無し2名	・毎月1回は、ホームページで活動内容、イベントの情報を発信している。イベントや取組についてチャリンを使い周知をしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22		1	回答無し1名 ・返信に行って、実績に印を押そうとする他のお子さんのお母さんでいるので、子の扱いで大丈夫かなと思っています。	・ご指摘ありがとうございます。実績等は裏にして名前が見えないように改善しました。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3	3	回答無し1名	・保護者には契約時に説明をしています。訓練も行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	4	5	回答無し2名	・火災、地震、不審者等の訓練を年に3回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	3	回答無し1名	・避難訓練や虐待束縛について契約時に研修実施や内容について説明しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	3	回答無し1名	・利用者の怪我等は支援後に保護者に謝罪も含めお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23			回答無し1名 ・心が安定しています。	・今後も安心して利用していただけるように進めて行きます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	3		回答無し1名 ・自分からクイズがある日は予定をしっかり考え、楽しみに通所しています。	・利用者には、期待感を持って来ていただけるように今後も工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23			回答無し1名 ・先生方とはとても親切でアドバイスしてもらえるので、助かります。 ・大変満足しています。友達に自慢を持って紹介しています。	・利用者の成長、成果を上げられるように職員間で情報共有をしっかり行い支援をしていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個別に対応できる部屋もあり、運動できる広いスペースもある。 ・個別に支援しやすいように個室が設けられている。	・広いスペースもあるので、小集団にも活用できるが、個別、小集団を同じ時間帯に支援を行う場合の使い方を工夫していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・必要に応じて配置している。	・送迎業務がある為、職員人数に余裕があとより良い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ホールは掲示物はあるが、個室は刺激に配慮し必要最低限にしている。	・駐車場からの移動時に注意が必要。 ・施設が2階にある為、階段の昇降には気をつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、清掃している。 ・整理整頓に気をつけている。	・冬期間は暖房等で起こる、乾燥には気をつけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・1枠の利用が1人1部屋になるよう計画されている（イベント、小集団を除く）	・1部屋ずつ壁で仕切られているので、使いやすくなっているが、椅子やテーブル等の備品の充実できるように考えていきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・引継ぎや情報共有を行い、支援や業務改善に務めている。	・目標や振り返り等は、全職員共通理解のもと行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・利用時のフィードバックやモニタリング等で保護者の意向確認を行い、ケース会議で職員間共有をして進めている。	・保護者様の意向については全職員確認している。対応については徐々に進めて行く。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・1on1を行い、意見を聞き、改善に繋げている。	・1on1以外に面談の時間を作ってきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・運営会議、ケース会議等で議題にあげ職員間で確認している。	・行政等に公表している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的な研修があり、参加させてもらっている。 ・発達支援研究所の研修を中心に行われている。 ・社内での研修が月1回程度開催されている。	・実践に向けての研修の機会を今以上にもうけて行きたい。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HP、行政等に公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・作成時に保護者様に確認している。 ・モニタリングや支援の方向性を共有するなどして、それらの情報をもとに支援計画を作成している。	・計画作成以外、フィードバックで保護者様と話をする機会はあるが、その時に応じてより細かな話ができるようにしていきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・全職員がモニタリング、計画立案に参加し利用者についての共有がされている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員全員に共有し、ケース会議や引継ぎで確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・会社で用意されているツールを使用している。	・引継ぎ等で更に詳しく、お子様の状況を確認していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子育てサポート加算や家族支援加算を保護者の方々に利用していただき、その結果を職員間で共有し支援に繋げている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的に打ち合わせをしている。	・職員間で打ち合わせをしているので、課題の改善が必要な際はその都度、改善のために打ち合わせを行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・必要に応じて、季節感を味わえるものを取り入れている。	・利用者に必要な支援は職員間で共有しているが、支援内容はそれぞれ考えているので固定化はしていないが、更に工夫をしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・小集団を定期的に行っている、そこで出た課題を個別支援で支援している。	・小集団については、曜日、時間等来年度に向けて、改善等があれば考えていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・職員間で支援前に引継ぎを行い、支援の方向を統一するようにしている。	・更に良いものを作るためにその都度、打ち合わせしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・引継ぎの際にその日の児の様子を共有している。 ・気づいたことなどは話したりしている。	・その日のうちに振り返りをできないこともあるが、次の日の朝礼等で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・毎時の支援の記録を書き残している。	・記録は徹底しているが、検証についての詳細はなるべく時間を作ってはいるが、モニタリング時に行うこともある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・職員で定期的な話し合いを行っている。	・成果を出して行くために課題について集中して支援をするように努めている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・こどもの特性に応じた活動や活動時間を設置している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・活動の中に「こんなときどうする？」などの質問を取り入れ、話深めながら自分で考える力を育てている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・担当者会議等で情報交換をして、連携しながら進めている。医療機関では、必要がある場合保護者様に承諾をいただいているから情報提供をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校への送迎は行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・担当者会議を行い、情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・該当する利用者はいないが、必要であれば情報提供していきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・市の相談室と利用者のモニタリングを行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	・利用者以外のこどもの交流は行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・なるべく参加するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・フィードバック時に保護者様と共通理解が持てるように実施している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・子育てサポートや家族支援等で相談、助言の場を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリングの際、保護者様の方から要望を聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	・保護者様に説明させていただき同意を得ている。要望もお聞きしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて、子育てサポートや家族支援にお誘いしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		茶話会を開催し、保護者同士や保護者と指導員との情報交換を行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情については今の所はないが、苦情のあった場合には、謝罪等も含め迅速にできるように職員間で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・放課後デイサービスの小集団の開催などもチラシを使い発信している。 ・ブログを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きロッカーを使用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・説明等、伝え方は具体的に分かりやすいように行い、説明について質問等がないか確認している。	・招待には至っていない為、地域のニーズを踏まえて検討していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・イベントのチラシ配布は行っているが、招待等は行っていない。	・訓練等の日程は施設内に掲示しているが、来所が難しい保護者様へは実施していることが伝わっていない可能性も踏まえ、お知らせの仕方を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・防災訓練や実施訓練を行っている。	・保護者様には契約時に伝えているが、実施の際のお知らせの工夫をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・研修、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・見学や契約の時に保護者様に確認をしている。	・食物を扱うイベントの実施も踏まえ、アレルギーについては定期的に保護者へ確認を行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーについては、保護者様の方に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・計画を作成し、研修や訓練にも参加している。安全管理について日頃から意識し職員間で共有している。	・契約時にはお伝えしているが、今後お知らせの工夫をしている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・災害時の避難についての連絡等は契約時に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・報告書を作成し、職員間で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修に参加し、情報共有を行っている。	・計画への記載が必要となった際には、全職員で話し合いを行い、対応を検討していくことについて、共通の件かを持って支援に当たれるよう、都度情報共有を行っている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時に保護者様に説明をしているが、計画に記載する該当の利用者がいない為行っていない。		